記者発表資料

令和７年１１月１２日
国土交通省 東北地方整備局
岩手河川国道事務所

「国道４号 北上拡幅」
令和７年１２月６日（土）に全線４車線開通！

国土交通省が事業を進めてまいりました国道４号北上拡幅（延長 12.2km）のうち、北上市・金ケ崎町境から洞泉寺前交差点間の延長 2.5km について、令和７年１２月６日（土）に４車線で通行可能となりますのでお知らせします。

これにより、昭和５７年度より事業を進めてまいりました北上拡幅は全線４車線での開通となります。

《今回の開通による主な整備効果》
〇４車線化による交通混雑の緩和
〇走行環境改善による冬期交通の円滑化
〇沿線自治体の産業振興を支援

１．日　時：令和７年１２月６日（土）　午前５時
※天候等の理由により日時に変更が生じる可能性があります。
※交通開放は順次段階的に行いますので、通行の際は現地の案内に従い、安全に走行願います。

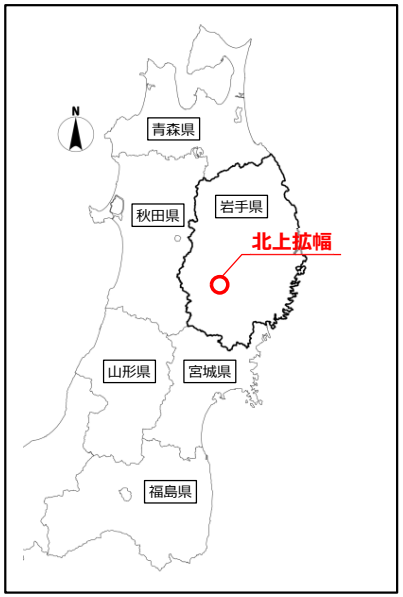
２．区　間：北上市・金ケ崎町境（北上市相去町字笹長根）
～洞泉寺前交差点（北上市相去町寺後沢）まで
（延長２．５ｋｍ）【別紙参照】

＜発表記者会：岩手県政記者クラブ、北上記者クラブ、東北建設専門紙記者会＞

（問い合わせ先）
国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
TEL　０１９-６２４-３１３１（代表）
副　所　長　清橋　秀聡　（内線２０５）

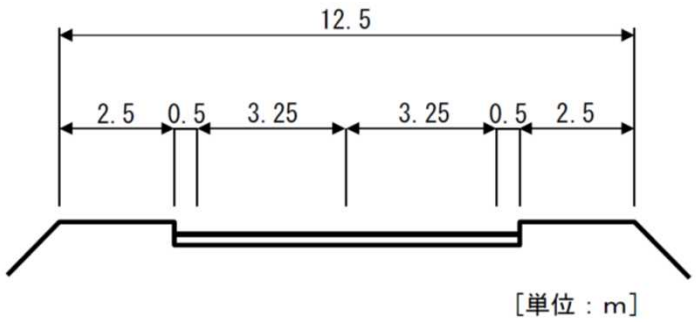
■国道4号　北上拡幅　位置図

事業概要図

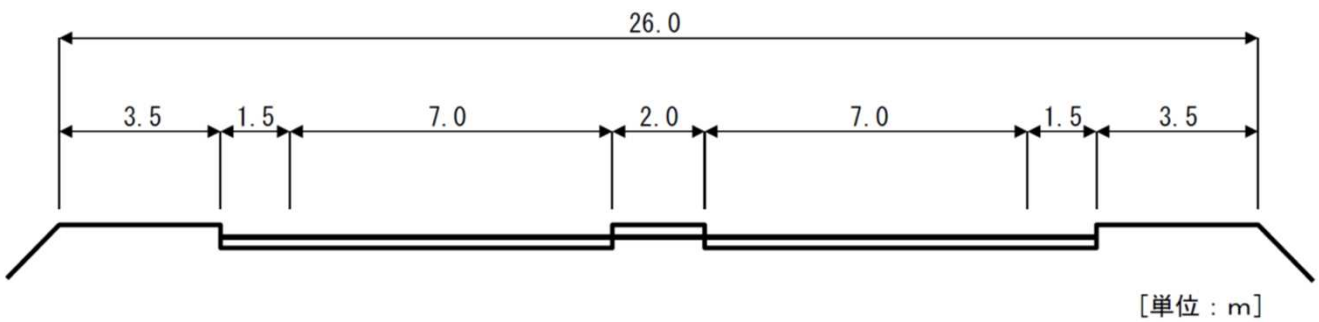


【主な事業の目的】
- 混雑の緩和
- 冬期交通の確保
- 沿線自治体の産業を支援

標準横断図（拡幅前）



標準横断図（拡幅後）



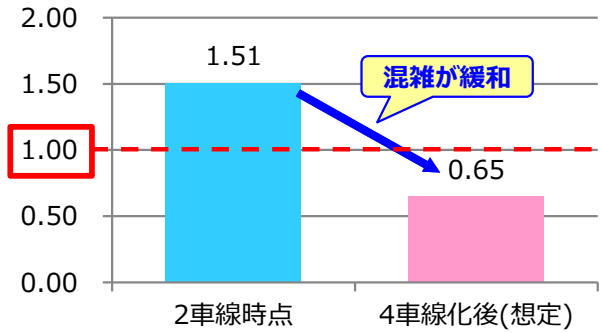
■交通混雑の緩和

◆ 北上拡幅事業区間の利用交通量は、約40年で約1.6～1.8倍に増加。一方、4車線化により混雑緩和し、旅行速度は約１割向上。
◆ 今回４車線開通区間でも同様の混雑緩和が期待され、速度向上による車両交通からのCO_2排出量の削減に寄与。
◆ 北上拡幅全線４車線化により、物資輸送時や通勤時における交通の円滑化に期待。

▼交通状況観測地点

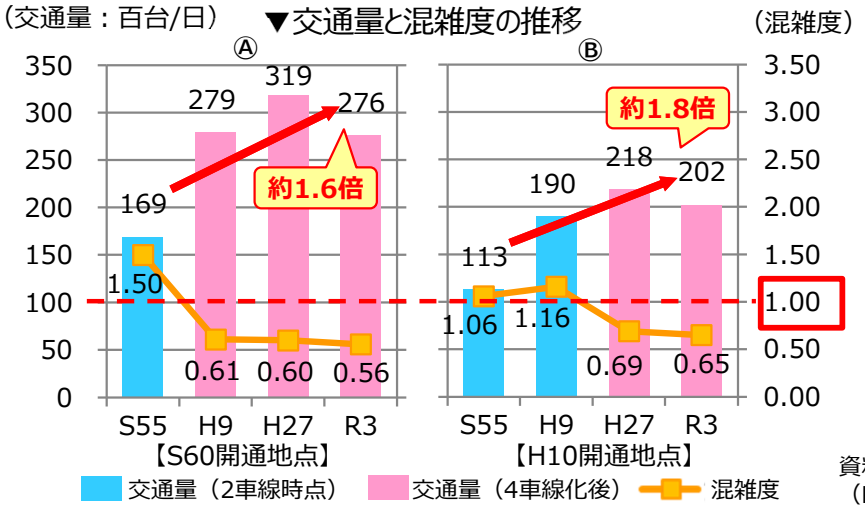
▼2車線区間の混雑状況

▼今回４車線開通区間の混雑度変化（想定）



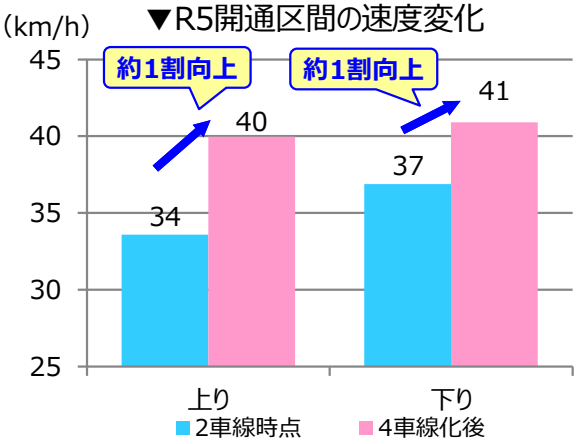
資料：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査
※4車線化後は、開通済み区間の混雑度より交通容量を算出し、混雑度を試算

▼交通量と混雑度の推移



資料：全国道路・街路交通情勢調査　※調査観測地点は年次によって異なる場合がある

▼R5開通区間の速度変化



資料：ETC2.0プローブデータ平日朝ピーク（7～9時）平均旅行速度
（R5開通区間：洞泉寺前交差点～南部工業団地口交差点）
2車線時点：R5.4、4車線化後：R6.4

CO_2排出量3,705トン/年の削減効果が見込まれる
【目安】削減排出量は**約1,000世帯分**に相当
北上市：約42,600世帯（R7.8末時点）

資料：(国研) 国立環境研究所における世帯あたりCO_2排出量より算出
※延長12.2km全線の4車線化等による将来交通量推計結果に基づき算定

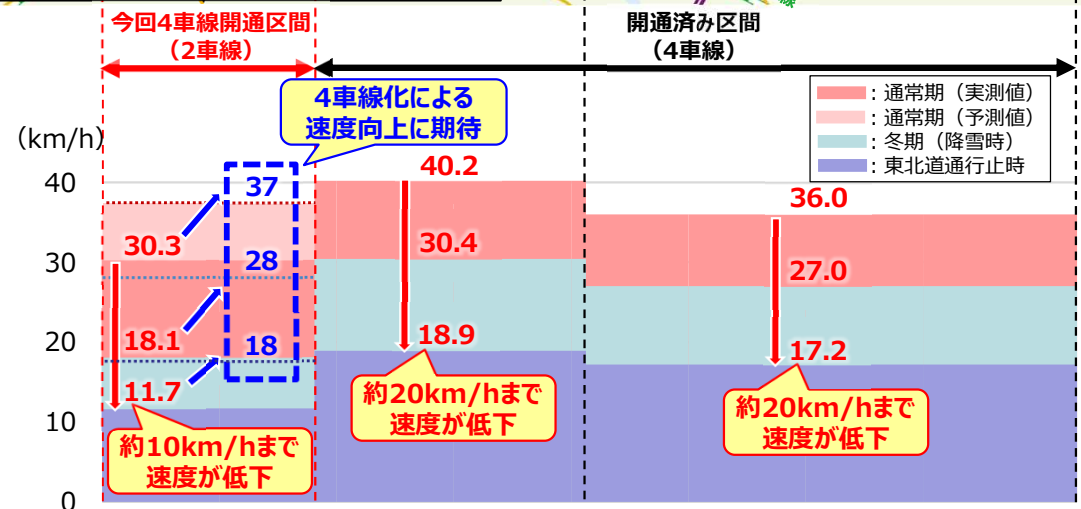
《沿線立地企業の声》

- これまでの4車線化で、特に朝の通勤時間帯の渋滞が緩和されたと感じている。
（R7.9交通事業者ヒアリング結果）

■冬期交通の確保

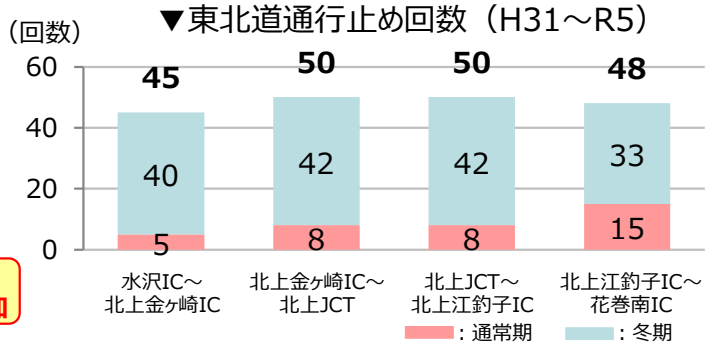
- ◆ 冬期は降雪等による路面の変化により走行性が低下し、混雑が悪化。
- ◆ 降雪に加え、並行する東北縦貫自動車道の通行止めにより国道４号へ交通が集中し、大幅な速度低下が発生。特に２車線区間での速度低下が大きい。
- ◆ 北上拡幅全線４車線化により、冬期における交通の円滑化に期待。

▼冬期の速度低下状況



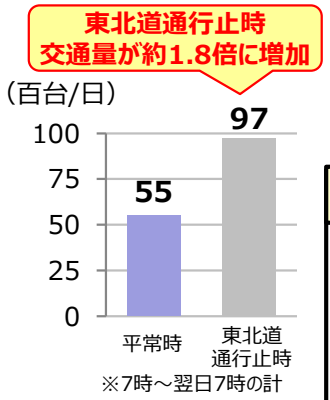
▼2車線区間の混雑状況（冬期）

▼東北道通行止め回数（H31～R5）



資料 NEXCO東日本　※工事、その他要因に伴う通行止め除く

▼東北道通行止めによる交通量変化



《物流・製造企業の声》

- 朝夕の混雑がひどく、冬場は堆雪で混雑が悪化。

（R7.8物流企業ヒアリング結果）

- 冬期の渋滞緩和に期待する。高速道路通行止め時はより混雑するため、通行止め時の混雑緩和にも期待する。

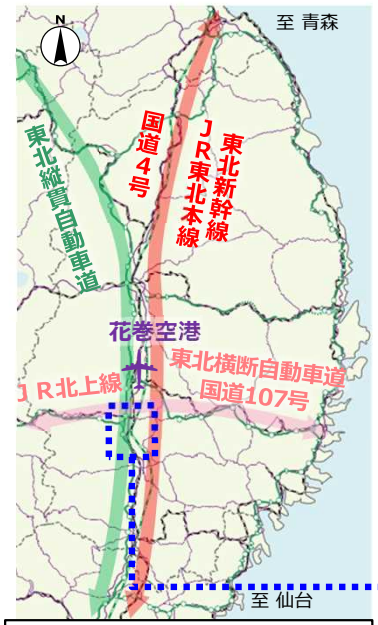
（R5.12物流企業ヒアリング結果）

資料 交通量・「断面交通量情報」（公財）日本道路交通情報センター（東北道通行止時：R4.1.12(水)、平常時：R4.1.19(水)、下り方向）
速度・ETC2.0プローブデータ、 朝ピーク（7～9時）上下平均旅行速度　※赤字：実測値、青字：4車線化による予測値（開通済み区間の平均）
（通常期：R6.9-R6.11、冬期：R6.12-R7.2降雪日、東北道通行止時：R4.1.12(水)）通行止…北上金ケ崎IC～鹿角八幡平IC、上下線（吹雪）

■沿線自治体の産業を支援

◆ 北上市の周辺地域は、主要幹線道路と鉄道等が結節するなど交通の要衝として発展し、交通網の整備により利便性は更に向上。
◆ 沿線自治体では、工業団地整備と企業誘致を積極的に展開し、北上拡幅の整備とともに東北有数の産業集積地として地域が発展。
◆ 北上拡幅全線４車線化により、ものづくり産業関連の物流の円滑化が図られ、地域の更なる産業振興を支援。

▼北上市を中心とした交通網

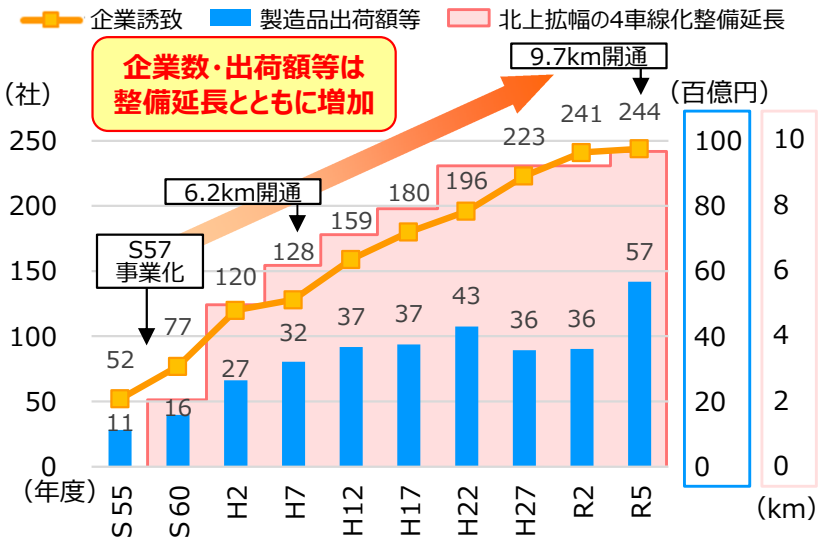


主要幹線道路と鉄道等が結節する「交通の要衝」

▼北上拡幅周辺の新設・増設企業立地状況

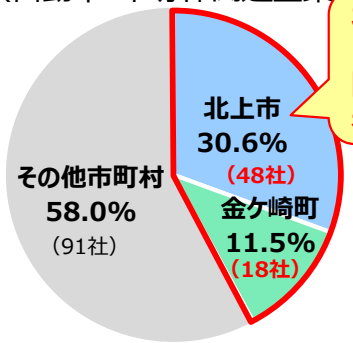
資料　同左　※工業団地等の付近に立地する企業は、付近の工業団地等の立地数に合算

▼北上市の企業誘致数と製造品出荷額等の推移



資料　各年工業統計・経済センサス・経済構造実態調査、北上市提供データ
※企業誘致数は、北上市発足（S29）からの累積値

▼岩手県の主要なものづくり産業の企業立地割合（自動車・半導体関連企業）



北上市周辺地域は自動車・半導体の関連企業数で岩手県内トップ

資料　岩手県提供データ
※H21～R6までの新設・増設企業の累積値

《自治体の声》

- 昭和58年には当時最先端の半導体工場が北上工業団地に立地したことをきっかけに北上市の工業が飛躍しており、北上市の工業振興の発展は国道４号の拡幅とともに歩んできた。
- 内陸型工業団地では原材料・部品・製品の陸上輸送が重要であり、北上拡幅によって東北自動車道のICとのアクセスが容易となり、産業のより一層の集積につながった。

（R7.8北上市ヒアリング結果）

《沿線立地企業の声》

- 生産方式の関係上、部品の到着遅れが生産工程全体に影響する。
- 4車線化による混雑緩和、製造や流通の円滑化に期待する。

（R7.9自動車製造企業ヒアリング結果）